

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
保育経営学	2	後期	講義	2	原村 光慈

○授業の到達目標及びテーマ

テーマ：地域の機能として必要な「子どもを護る施設」の経営を学ぶ。また様々な保育ニーズがあるなか、どのように一ヶ所の拠点事業で多岐にわたる保育ニーズに伝えていくかを考察する。

到達目標

- 1 施設の収入と支出を把握する。
- 2 なぜその施設が地域で必要とされているかを理解する。
- 3 子どもの安心・安全を守るための施設としての対策を理解する。
- 4 人件費を含め、より良い経営状態を長く保つための経営戦略を理解する。

○授業の概要

社会福祉法人・NPO法人・企業型など、主体の性格が異なる経営陣が、子どもを護る施設経営を展開している時代。様々な保育ニーズを満たすためにそれぞれの経営陣が努力している内容を把握する。またより良い事業内容を目指すために、子どもに安心・安全を確保するために、どのような工夫があり、日々の経営が成り立っているのかを考える。少子化や職員への処遇改善など、国の動向を含めて、今後地域に長く必要とされる施設とはどのような施設かを学ぶ。

○授業計画

回数	題目	授業内容
1	地域における園の必要性	施設がその地域に本当に必要かどうかを考察する。また事業内容や特色など、利用者に選ばれる・ニーズのある施設の業務形態・業務内容はどのようなものを整理する。
2	市町村における子ども・子育て計画	国の子ども・子育て会議等から今後のあり方を考察する。また各市町村から発表されている5ヵ年計画など、就職希望地域の子どもに対する予算や計画を調べる。
3	職員の年間所得・給与の基本的な構成	賃金や手当の性質を学ぶ。また賞与を含めた年収、年末調整、確定申告の必要性の有無、個人型確定拠出年金など節税対策を考察する。
4	健康保険・厚生年金保険・雇用保険	給与の総支給からひかれる保険の必要性を学ぶ。また継続的に保険に加入し、一定時間数を長期に働くことで、雇用保険など様々なメリットがあることを学ぶ。
5	処遇改善Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	3つの処遇改善の性格の違いを把握する。またどのようにすれば処遇改善の金額が職員のモチベーションアップ、より良い生活の保証になるかを考察する。
6	職員配置・処遇改善の対象者の役割	子どもの人数に対して職員が最低基準で何人必要か、また基準以上の職員は加算対象事業や処遇改善の職員としてどのような役割で登録されているかを学ぶ。
7	施設型給付費	運営費～給付費など収入の性質を学ぶ。また翌年度への資金の繰越や弾力運用など経営主体で使える資金の使用目的に制限があることなどを決算書から理解する。
8	園の基本的な収入構成	子どもの年齢や保育の必要量によって、一人当たりの単価が違うことを理解する。1・2・3号など子どもの年齢で月々の収入が変わるため試算表が必要なことを学ぶ。

9	園のクラス運営及び年間計画・事業報告	毎日・毎月の保育計画から運動会や発表会などのイベントまで、どのように子どもたちを導くことで、地域に選ばれる施設となるかを考察する。また保護者への情報の発信方法を整理する。
10	多様化する保育経営形態	社会福祉法人・学校法人・企業型・NPO 法人など経営体質の違いを確認する。また病後児保育や学童保育など様々な特別保育事業の拠点としてのあり方を学ぶ。
11	役員会(理事会・評議員会等) 県や市の監査内容	役員会における役員通しの牽制機能などを理解する。また必ず役員会で議題が上げないといけない案件(予算、補正予算、事業計画・報告等)を学ぶ。
12	地域に開かれた園の役割	子どもを護る専門の機関として、地域との繋がりや貢献を考える。また子育て支援・相談機能をどのように地域へ浸透させていくかを学ぶ。
13	子どもを護る-安心と安全の保証	0～6歳までの子どもを受け入れる施設として、どのように子どもたちに安心と安全を提供していくか、提供できているかを考える。各連携機関や施設内での歯科検診・健康診断など施設としての連携機関をまとめていく。
14	子どもを護る-事件・事故・災害の事例	ヒヤリハット事例を検証する。また避難訓練の意義など、災害時にどのようにすれば良いかを考察する。
15	今後の子どもを教育および保育する施設のあり方	保育園や幼稚園、認定こども園などある中で、小学校への連携を含めてどのように義務教育へ繋げていくか、連携を考える。またアクティブラーニングなどこの義務教育以前の時期だからこそできたことを整理する。

定期試験 (持ち込み不可)

授業でプリントを配りますので、ファイルに整理をしてください。

○テキスト

無

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」(最新版) 文部科学省. フレーベル館

「保育所保育指針解説」(最新版) 厚生労働省. フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版) 内閣府・文部科学省・厚生労働省. フレーベル館

○学生に対する評価

定期試験 70% 授業態度、講義への参加態度 30% (課題提出を含む)